

報告事項

【学会活動報告】

1. 2018 年 10 月～2019 年 9 月での主な活動（会長 下村英雄）

- ・研究大会・研究セミナーの開催：
第 40 回研究大会（大会実行委員長 三村隆男、2018 年 12 月 7 日（金）～9 日（日）、早稲田大学早稲田キャンパス）
第 37 回研究セミナー（実行委員長 服部文彦、2019 年 6 月 30 日（日）、名古屋都市センター）
国際交流セミナー2019（国際交流委員会、2019 年 8 月 22 日、早稲田大学国際会議場）
講習会：「自己効力感」を用いた研究をはじめよう（研究推進委員会、2019 年 8 月 24 日、南山大学）
- ・学会誌、ニューズレターの発行：
『キャリア教育研究』第 37 巻第 2 号（2019 年 3 月 31 日発行）
第 38 巻第 1 号（2019 年 9 月 30 日発行）
ニューズレター第 105 号（2018 年 10 月 12 日）、第 106 号（同 11 月 9 日）、第 107 号（同 12 月 5 日）、第 108 号（2019 年 1 月 28 日）、第 109 号（同 2 月 28 日）、第 110 号（同 3 月 29 日）を発行。
2019 年度からは春夏秋冬の年 4 回の「ニューズレター」と随時発行の「メールニュース」に機能分化。
ニューズレターは 2019 年度・春号（2019 年 6 月 30 日）、2019 年度・夏号（同 9 月 30 日予定）を発行。
メールニュースは合計 9 通（6 月 11 日、6 月 13 日、6 月 26 日、6 月 28 日、7 月 8 日、7 月 12 日、8 月 7 日、8 月 12 日、8 月 23 日）を発行。
- ・キャリア・カウンセラー資格認定
- ・日本キャリア教育学会編『キャリア教育概説』の改訂

2. 会員の状況（事務局長 京免徹雄）

2018 年度の定期総会（2018 年 12 月 8 日）より 2019 年度第 1 回理事会（2019 年 9 月 22 日）までに 110 名の新会員が承認され入会した。退会者は 109 名である（入退会とも資料 1 参照）。これより 2019 年 9 月 22 日時点で 1,073 名（一般会員 938 名、一般（学生）会員 103 名、一般（70 歳以上）会員 32 名）、名誉会長 1 名、名誉会員 7 名、賛助会員 16 団体となった。

*総会成立要件については、2019 年度第 1 回理事会（2019 年 9 月 22 日）において承認を受けた一般会員数 1,073 名を適用する。

3. 会議の開催等（事務局長 京免徹雄）

・会議の開催

2018 年度第 3 回常任理事会	2019 年 1 月 13 日（日）	東放学園音響専門学校 清水橋校舎 6S1 教室
2018 年度第 3 回理事会	2019 年 4 月 14 日（日）	国際文献社パブリッシングセンター
2019 年度第 1 回常任理事会	2019 年 6 月 8 日（土）	東放学園音響専門学校 清水橋校舎 6S1 教室
2019 年度第 2 回常任理事会（臨時）	2019 年 7 月 17 日（火）～19 日（金）	メール審議
2019 年度第 1 回理事会	2019 年 9 月 22 日（日）	国際文献社パブリッシングセンター
2019 年度第 2 回理事会	2019 年 11 月 9 日（土）	長崎大学文教キャンパス

・会議等への参加（役員・委員の出張）

日本スクールカウンセリング推進協議会第 3 回理事会・臨時総会 2018 年 12 月 11 日（火）（下村理事）
教育関連学会連絡協議会第 7 回総会 2019 年 3 月 16 日（土）（京免事務局長）
日本スクールカウンセリング推進協議会第 4 回理事会 2019 年 3 月 26 日（火）（下村会長）
公認心理師養成大学教員連絡協議会連携会議 2019 年 3 月 31 日（日）（永作事務局次長）

日本スクールカウンセリング推進協議会第1回理事会 2019年5月27日(月)(下村会長)
日本心理学諸学会連合会第7回社員総会 2019年6月16日(日)(下村会長、永作事務局次長)
日本進路指導協会会長表彰者選考委員会 2019年6月19日(水)(京免事務局長)
日本スクールカウンセリング推進協議会2019年度定時総会・理事会
2019年6月24日(月)(下村会長)
第68回進路指導研究協議全国大会 2019年7月25日(木)～26日(金)(下村会長、京免事務局長)

・後援名義使用承諾

日本産業カウンセリング学会 第24回大会(2019年8月24日～25日開催)
2019年度全国高校生・高専生のためのキャリア(進路)生活文・短歌コンテスト
(株式会社さんぼう 2019年9月20日)
日本発達心理学会 関東甲信越地区シンポジウム(2019年10月13日開催)
第45回関東甲信越地区中学校進路指導研究協議会 千葉大会(2019年11月8日開催)
ユース・エンタプライズ トレードフェア 2019 with キッズベンチャータウン
(トレードフェア実行委員会 2019年12月1日開催)
第7回多摩地区専門学校 チャレンジプログラムシンポジウム2019(多摩地区高等学校進路指導協議会
公益社団法人 東京都専修学校各種学校協会 多摩地区専修学校協議会 2019年12月6日開催)
第11回日本語大賞(特定非営利活動法人 日本語検定委員会 2020年3月表彰)

・共催

第68回進路指導・キャリア教育研究協議全国大会(日本進路指導協会 2019年7月25日～26日開催)

【委員会報告】

1. 学会誌編集委員会報告（委員長 横山明子）

(1) 学会誌編集状況

近年、投稿本数が増加している。

できる限り査読期間を短くし、学会誌掲載の本数を増やしていきたい。

①論文の投稿・審査状況（2019年4月から8月30日まで）

新規投稿論文 12本（1903～1904 まで 2019 年度総計 14 本）

再審査論文 7 本（内同一論文 1 本再審査 2 回）

査読結果 採択 1 本（次号に掲載予定）

修正採択 2 本 再審査 10 本 不採択 4 本

審査中 5 本（新規 3 本 再投稿 2 本）

②『キャリア教育研究』の発行

第 37 巻 2 号を 2019 年 3 月 31 日付で発行済（掲載論文 4 本）

第 38 巻 1 号を 2019 年 9 月 30 日付で発行

・掲載論文 1 本

・日本キャリア教育学会第 40 回研究大会基調講演（ダリル・T・ヤギ先生）

第 38 巻 2 号を 2020 年 3 月 31 日付で発行予定

(2) 検討事項について

①論文投稿のチェックリストについて、実践研究論文の倫理規程を策定した。今後、実践研究については、このチェックリストもチェックしていただくことにしたい。今後周知をしていく。

②執筆規定のうち、著者多数の場合の引用の記載様式の変更を検討している。決まり次第周知する。

③2重投稿の規程について、具体例など詳しい情報を広報することにした。

④インターネットなどを利用した査読方法を再検討したが、当分の間はこのままの査読システムを継続する。

2. 研究推進委員会報告（委員長 浦上昌則）

(1) 報告事項

今期の研究推進委員会では、以下のような方針にそった企画を策定、実施の予定である。

研究活動に足を踏み出せていない会員を対象として、研究活動への手がかりを提供する。キャリアに関心をもつが、本会には未入会である研究者の入会を促進する。

①web 連載

おおむね月一回の更新で進行中である。今後も同様のペースで継続を予定している。

②講習会、研究会等

・2019 年 8 月 24 日 「自己効力感」を用いた研究をはじめよう、を実施した

参加者 12 名（欠席 3 名）

学会 web にて開催レポートを公開

・2019 年 11 月 9 日(予定) 大会時 質的研究のすすめ方を開催する

③委員会企画 会員調査

2019 年度中に web を利用した調査の実施を企画中である。

3. 情報委員会報告 (委員長 家島明彦)

(1) 委員会の開催

- ・3月25日(金)にZoomを使って情報委員会(オンライン会議)を開催
→委員同士の自己紹介、2019年度の活動方針について協議
→4月からニューズレター(年4回)とメールニュース(随時)に機能分化する方向に
- ・5月21日(火)にZoomを使って情報委員会(オンライン会議)を開催
→今後のウェブサイト運営方針(更新作業)について協議
→6月からウェブサイト更新を情報委員会で担う方向に
- ・6月26日(水)にZoomを使って情報委員会(オンライン会議)を開催
→メールニュース配信方法について確認

(2) ニューズレターおよびメールニュースの配信

- ・1~3月は従来通りに対応(毎月のウェブサイト更新&ニューズレター配信)
→1月:執行部、2月:委員長、3月:地区代表
- ・4月は移行期のため配信なし
- ・5月29日(水)にメールニュースを配信
→4月と5月に配信依頼があったもの+α
- ・6月30日(日)にニューズレター(2019年度・春号)を刊行
→配信設定ミスにより実際には7月1日(月)に配信

- | | |
|-------------------|------------------|
| ①ニューズレター:特集(読みもの) | →年4回(春・夏・秋・冬号)配信 |
| ②メールニュース:案内(お知らせ) | →随時(または月1回程度の)配信 |

- ①各号の担当責任者を決めて当該委員を中心に企画・編集(依頼や校正は委員全員で分担)
今年度の全体テーマは「新しい時代のキャリア教育について様々な立場から考える」
→行政、学校現場(初等・中等・高等教育機関)、地域・自治体、企業、研究など様々な立場から担当者にキャリア教育に関して想いを語ってもらうリレー方式コラムのイメージ。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 春号(4・5・6月) 家島 | (第1弾 国家公務員・政府関係者に聞く) |
| 夏号(7・8・9月) 高丸・渡部 | (第2弾 実務家・実践家に聞く) |
| 秋号(10・11・12月) 竹内・京免 | |
| 冬号(1・2・3月) 本田・長尾 | |

- ②事務局、委員会、地区部会などからの依頼を受けて随時(または月1回程度)配信

(3) ウェブサイトの更新

- (従来) 月1回(毎月月末か月初めに国際文献に依頼して更新してもらう) = 時間・費用がかかる
(現在) 委員会で編集・更新できるような体制 = 柔軟な対応が可能

(4) まとめ(成果)

- ・交通費のかからないオンライン会議の開催
- ・ニューズレターとメールニュースの機能分化、配信作業の内製化を実現
- ・ウェブサイト更新作業の内製化を実現

4. キャリア・カウンセラー資格認定委員会報告 (委員長 渡辺芳生)

(1) 講座関連

① 第一回「研修講座」(第 37 回研究セミナー開催時)

6 月 30 日 (日) 9:20~12:30 会場:名古屋都市センター 第 3・4 連結会議室

a 分野 (キャリアに関する理論と活用)

講師:宮城県鹿島台商業高等学校 進路指導部長 青野 也寸志 先生

テーマ「高等学校のキャリア教育と進路指導

ーキャリアに関する理論を踏まえた学校から職業・社会への接続ー」

c 分野 (学校教育・キャリア教育の理解)

講師:南山大学 教職センター 講師 服部 文彦 先生

テーマ:「商業科指導法におけるビジネスマナーの指導法

ーキャリアデザインを活用した有効な面接指導と就職支援の一考察

ー秘書検定を活用した段階的な面接指導法ー」

受講者:30 名 (事前申込 20 名、当日申込 10 名)

② 「基礎講座」

8 月 10 日 (土) ~11 日 (日) 会場:東放学園音響専門学校 清水橋校舎

<8 月 10 日 (土)> 9:00~16:10

a 分野 (キャリアに関する理論と活用)

テーマ「キャリア理論の基礎と時代的変遷」

講師:三村 隆男 先生 (早稲田大学) (9:00~12:10 180 分)

d 分野 (産業・職業理解と実践的支援)

テーマ「産業・職業の理解と実践的支援」

講師:下村 英雄 先生 (独立行政法人 労働政策研究・研修機構) (13:00~16:10 180 分)

<8 月 11 日 (日)> 9:00~16:10

b 分野 (カウンセリング・スキルに関する理論と実践)

テーマ「キャリア・カウンセリングの基礎と実践」

講師:本間 啓二 先生 (日本体育大学) (9:00~12:10 180 分)

c 分野 (学校教育・キャリア教育の理解)

テーマ「キャリア教育を基軸とした高大連携」

講師:望月 由起 先生 (日本大学) (13:00~16:10 180 分)

・筆記試験 16:30~17:30 (60 分)

受講生:19 名 (非学会員 1 名を含む→開催校教職員)

修了試験:全員合格 (60 点以上) 平均点:78.4 点、最高点:90 点、最低点 68 点

※ 非学会員の参加を委員会で検討した際に公開講座の提案があり、継続検討。

③ 国際交流セミナー2019「キャリア・カウンセラー研修講座」として認定講座

8 月 22 日 (木) 早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール

c 分野 (学校教育・キャリア教育の理解)

基調講演:コリーン・マルチネズ 先生

カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教師教育学部准教授 Linked Learning Alliance 理事

シンポジウム:パネリスト コリーン・マルチネズ 先生

鈴木 光俊 先生(都立世田谷総合高校 校長)

西 美江 先生(関西女子短期大学 教授)

三村 隆男 先生(早稲田大学教職大学院 教授)

コーディネーター 岡部 敦 先生(札幌大谷大学 准教授)

受講者:5 名 (事前申込者:5 名、当日申込者:0 名)

④ 第二回「キャリア・カウンセラー研修講座」

11月9日(土) 9:00~12:10 会場:長崎大学 文教キャンパス 教養教育棟2階 A23教室
d分野(産業・職業理解と実践的支援)

テーマ「若者雇用と職業の現実」

講師:永田 萬享 先生(福岡教育大学名誉教授 九州・沖縄地区部会会長)

b分野(カウンセリング・スキルに関する理論と実践)

テーマ「厚生労働省編一般職業適性検査(GATB)の開発と構造
—効果的な活用のための専門的知識—

講師:本間 啓二 先生(日本体育大学)

※ 10/25 締切

(2) 資格更新者:3名

(3) 新規取得者:2名

(4) メール会議

7月11日 議題「基礎講座」非学会員の参加について

8月27日 議題 11/9「第二回研修講座」「面接試験」対応について 他

9月18日 議題 11/9「第二回研修講座」非学会員の参加について

(5) 資格取得者の更新時期案内サービス【継続検討中】

(6) ガイダンスカウンセラー推薦者:2名

5. 倫理委員会 (委員長 若松養亮)

(1) 活動報告

以下の課題について検討を行う必要性を共有し、順次実行に移すことを計画している。

(1) 倫理綱領の修正、倫理規程の制定に向けた検討

(2) 倫理的問題についての啓蒙活動

(3) 常置委員会として継続する可否の検討

6. 国際交流委員会 (委員長 岡部敦)

(1) 活動報告

(1) 国際交流委員会の2019年度体制

委員長:岡部 敦(札幌大谷大学) 副委員長:藤田晃之(筑波大学)

委員:家島明彦(大阪大学)、西美江(関西女子短期大学)、三村隆男(早稲田大学)、

ライアン優子(静岡大学)、宮古紀宏(国立教育政策研究所)

(2) 活動内容

・IAEVG(国際キャリア教育学会)およびARACD(アジア地区キャリア発達学会)と本学会との連携・協力

①IAEVG 関係

・2019年大会への参加

開催地:Bratislava, Slovakia

開催日程:2019年9月11日(水)~13日(金)

(プレ大会:Brno, Czech, 2018年9月10日(火))

・大会参加者によるレポートを学会ニューズレターなどに掲載

・IAEVG 総会への出席(団体会員としての権利行使)

*2019 年 8 月に行われた IEVVG 理事選挙において、藤田晃之委員が、副会長・常任理事(Executive Committee)に選出された。

*IAEVG2020 年大会は、2020 年 10 月 20 日 (火) ~22 日 (木) ラトビア共和国リガにて開催

②ARACD 関係

- ・2020 年大会への会員の参加を呼びかける

開催地：クアラルンプール、マレーシア (Intercontinental Hotel)

開催日：2020 年 11 月 19 日 (木) -21 日 (土)

*AHRD との合同開催

- ・大会参加者によるレポートを学会ニューズレターなどに掲載
- ・大会の企画運営に対する支援 →現在、協議を継続中
- ・マレーシア大学の担当者 (Steven Krauss) との現地での打ち合わせ

→渡航費用などの面で難航中

- ・ARACD の HP での告知

・第 40 回研究大会 (早稲田大学) にて開催された ARACD セミナー (日韓ラウンドテーブル) を継続して実施

- ・ARACD 事務局(Head Quarter)としての業務
- ・会員の管理 (Registration Form の管理、入退会手続きのメール対応)
- ・ARACD の HP の更新 レンタルサーバー使用料 1 ヶ月 1,404 円 (年払い：16,848 円)

今後は、日本キャリア教育学会の HP に英語のページを設定し、ARACD の情報についてもそこで発信することを検討する。

- ・理事及び会員への情報提供

*現在、韓国では ARACD の韓国地区部会として、新たな組織を立ち上げる動きをしている。日本においても、ARACD 日本地区部会として法人化できるような手立てを検討する。

*日本キャリア教育学会第 40 回大会で実施した日韓ラウンドテーブルの様子を記録した動画を web ページにアップした。

(3) キャリア教育に関する研究・実践の国際化を推進するための方策

①日本キャリア教育学会国際交流セミナーの開催 (実施済み)

2019 年 8 月 22 日 (木) 13:30-16:50 早稲田大学国際会議場 井深大 (いぶか・まさる) ホール

参加者数：75 名

内訳：小学校 3 名、中学校 4 名、高校 12 名、行政機関 (指導主事など) 3 名、大学 27 名 (学生も含む)、民間企業 12 名、残りはそれ以外

②海外の研究者との共同研究の企画 (IAEVG および ARACD との協力)

③本学会の研究成果を海外に発信する

- ・研究紀要の英文タイトルとアブストラクトを HP に掲載
- ・研究大会の発表者の英文タイトル一覧を HP に掲載
- * 紀要編集委員会および研究大会実行委員会との連携

(4) 本学会の国際化をはかるための方策

①日本キャリア教育学会第 41 回大会の国外研究者への周知

ARACD の HP 上での告知と理事へのメール (実施済み)

②IAEVG 2019 年度大会の会員への周知

日本キャリア教育学会 HP およびメールニュースを通じて、すでに実施済み

③その他の国際学会や国際的な学術研究の機会を学会員

【研究大会・研究セミナー報告】

1. 第 40 回研究大会報告（大会実行委員長 三村隆男）

2018 年 12 月 7 日（金）～9 日（日）、早稲田大学早稲田キャンパスにて開催

テーマ：学問を超えるキャリア教育の地平

参加者：延べ 294 名

学会誌 37 巻第 2 号に報告を掲載済み

2. 第 37 回研究セミナー報告（セミナー実行委員長 服部文彦）

2019 年 6 月 30 日（日）、名古屋都市センターにて開催

テーマ：新学習指導要領とキャリア教育の指導法について

参加者：49 名

学会誌 38 巻 1 号に報告を掲載済み。

【地区部会活動】

1. 北海道・東北地区部会活動

(1) 2018年9月29日(土) 13時～17時30分

2018年度第1回研究会

会場：札幌大谷大学大谷記念ホール

基調講演：「Front Page Kids, Virtues and Hopes—過ちを犯した子どもたちの美德と希望—社会的包摂を目指すキャリア教育の可能性について ～カナダ・アルバータ州の高校教育政策を中心に～」

話題提供者：カルガリーユースアテンダンスセンター マリリン・ウォードル女史

シンポジウム：「社会包摂を実現するためのキャリア教育とは 少年院を出院した子どもたちの自立支援—日本と韓国の比較」

パネリスト：韓国青少年政策研究院 副研究員 崔禎元(Choi Jeong Won)氏

札幌弁護士会 内田信也氏

紫明女子学院院長 平原政直氏

北星学園余市高等学校教頭 小野澤慶弘氏

株式会社総合サービス企画代表取締役 山田壮範氏

コーディネーター：札幌大谷大学准教授 岡部敦先生

(2) 2019年3月23日(土) 14時～17時

2018年第2回研究会

会場：弘前大学教育学部3階302教室

内容：「発達障害の人の就労支援」

話題提供者：清水浩先生(山形県立米沢女子短期大学)

総会

○役員体制

代表：渡部昌平(秋田県立大学)

副代表：岡部敦先生(札幌大谷大学)

富永美佐子先生(福島大学)

吉中淳先生(弘前大学)

幹事：吉野泰正先生(北海道旭川永嶺高等学校)

沼山博先生(山形県立米沢栄養大学)

中村修先生(東北福祉大学福祉心理学科)

竹本由香里先生(岩手保健医療大学)

松田侑子先生(弘前大学)

吉崎聡子先生(弘前大学)

監事：石戸谷繁先生(東北女子大学)

(3) 2019年6月29日(土) 13時～16時

2019年度第1回研究会

会場：小樽商科大学札幌サテライト

内容：「困難を抱える若者の就労支援～ユースワーカーの現場から～」

話題提供者：札幌市若者支援総合センター副館長 田中基康氏

内容：「バルネラブルな若者への学習の機会を確保する取り組み(カナダ・アルバータ編)」

話題提供者：札幌大谷大学准教授 岡部敦先生

2. 関東地区部会活動

(1) 平成 30 年度 日本キャリア教育学会関東地区部会活動報告

- ◆第1回 関東地区部会キャリア教育体験研修会 2018年6月26日(火) キッザニア東京
- ◆日本キャリア教育学会関東地区研究大会・総会 2018年7月26日(木)
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
<総会>
時間： 12時00分～12時30分
 - ・平成29年度 活動報告
 - ・平成30年度 活動計画案の検討
 - ・平成30年度 関東地区部会役員について
- ◆第2回 関東地区部会キャリア教育研修会 2018年9月22日(金)
- ◆第3回 関東地区部会キャリア教育研修会 2018年11月24日(土)
《テーマ》 不登校とキャリア教育
《場 所》 早稲田大学
《内 容》 宮古紀宏(国立教育政策研究所)
堀 正士(早稲田大学)
高塚雄介(一般社団法人メンタルヘルス・ビューロー)
三村隆男(早稲田大学)
- ◆第4回 関東地区部会キャリア教育体験研修会 2018年12月13日(木)
体験研修会 東京都江東区豊洲2-4-9
東京都江東区豊洲アーバントラックららぽーと豊洲3階 キッザニア東京
- ◆第5回 関東地区部会キャリア教育研修会 2019年1月12日(土) 早稲田大学
《テーマ》 「どうしようもない力」とキャリア教育
《場 所》 早稲田大学
《内 容》 門馬 優 (NPO法人TEDIC代表理事)
宮澤かおる(ゲティスバーグ大学教育学部准教授)
仲村禎夫(早稲田大学名誉教授)
三村隆男(早稲田大学)

(2) 2019年度 日本キャリア教育学会関東地区部会活動計画(一部実施済)

- ◆第1回 関東地区部会キャリア教育研修会・総会 2019年6月1日(土)
時間：13:00～16:00
《テーマ》 「Edutown あしたね」を活用したキャリア教育の展開
《場 所》 十文字学園女子大学 新座キャンパス9号館4階9415教室
《内 容》

「Edutown あしたね」の機能と学習展開

本多 夏夫(東京書籍株式会社)

小中学生用職業興味検査「はたらきメダル」を用いた特別活動に基づく興味の測定

永作 稔(十文字学園女子大学)

・2019年度関東地区部会役員

代表	永作 稔 (十文字学園女子大学)
副代表	下村 英雄(労働政策研究・研修機構) 三村 隆男(早稲田大学大学院)
幹事	千葉 吉裕(日本進路指導協会) 藤田 晃之(筑波大学) 渡辺 芳生(東放学園キャリアサポートセンター) 吉倉 英基(東放学園専門学校)
会計	小菅 清香(学習院大学)

室山 晴美 (労働政策研究・研修機構)
監事 横山 明子 (帝京大学)

- ◆第2回 関東地区部会キャリア教育体験研修会 2019年6月25日(火)(キッザニア東京)
時間:17:45~21:00
- ◆第3回 日本キャリア教育学会関東地区研究会 2019年8月22日(木)
時間:10:00~11:30
場所:早稲田大学国際会議場 井深大(いぶか・まさる)記念ホール
《テーマ》 我が国における学級と地域社会をつなげるキャリア教育の取り組み
《内容》 「小学校6年生に対する特別活動を通じた社会・地域の理解深化と自己肯定感向上の取り組み」
埼玉県飯能市教育委員会指導主事 松尾みのぶ
- ◆第4回 関東地区部会キャリア教育研修会 2019年8月22日(木)
国際交流委員会と合同開催のため、詳細省略
- ◆第5回 関東地区部会キャリア教育体験研修会 2019年10月5日(土)
13:00~16:00 「セルフ・コンパッションと就職活動初期の精神的適応の関連
—不採用経験の認知的評価、内定獲得の有無に着目して—」
東京家政大学子ども学部子ども支援学科
水野 雅之 先生
《場所》 十文字学園女子大学 9415 教室
- ◆第6回 関東地区部会キャリア教育研修会 2019年11月15日(金)
《場所》 板橋区立中台小学校
- ◆第7回 関東地区部会キャリア教育研修会 2019年11月23日(土) 13:30~16:45
テーマ:多様なキャリア形成を考える《第1弾》学校教育とLGBT
場所:早稲田大学 早稲田キャンパス「国際会議場」3階会議室
内容:
【第1部】
第I部 基調講演:教育、当事者、企業課題の視点から
高野慎太郎(学校法人自由学園教員)
藤原和士(YouTuber)
阿佐見綾香(電通ダイバーシティ・ラボ)
第II部 質疑・応答:
第III部 分科会
- ◆第8回 関東地区部会キャリア教育研修会 2020年1月18日(土) 早稲田大学
テーマ:外国籍児童生徒とキャリア形成

3. 中部地区部会活動

(1) 2018年度活動報告

- ・平成30年度 第1回研修会

日時 2018年6月24日(日) 13:00~16:00

会場 名古屋学院大学 日比野学舎 301 教室

講演 深谷潤一理事長(NPO法人ICDS)

演題 「キャリアコンサルティング属性別ツールについて」

シンポジウム「キャリアコンサルティング属性別ツールの利用法・研究活動等」

パネリスト NPO法人ICDS 理事長 深谷 潤一 氏

南山大学 教職センター 講師 服部 文彦 氏

コーディネーター 日本キャリア教育学会中部地区部会代表 長坂廣幸

・第2回研修会

日時 平成31年1月13日 (日) 13:00~16:00

会場 一宮市市民活動支援センター会議室A・B連結

講演 岸アトラライフ研究所 所長 岸 弘市 氏

演題 「職場のメンタルヘルス～よきコミュニケーションづくり～」

・第3回研修会

日時 平成31年1月26日 (土) 11:00~15:00

会場 金沢工業大学15号館3階 15-306号室 (稲垣研究室)

講演 森長電子株式会社 総務部長 吉田 悦子 氏

演題 「企業実務におけるキャリア教育～私の場合」

・第4回研修会

日時 2019年3月2日 (土) 11:00~15:00

会場 金沢工業大学15号館3階

講演 医療法人財団医王会医王ヶ丘病院

心理カウンセラー 堀口 寿人 氏

演題 発達障害のキャリア形成

～心理検査から見る発達障害の特徴とキャリア形成への活かし方～

・第5回研修会

日時 2019年3月3日 (日) 13:15~16:45

会場 名古屋都市センター 1 会議室

【第1部】13:15~14:45

演題 「高等学校におけるキャリア教育の在り方」

講演 南山大学 教職センター 講師 服部 文彦 氏

全国高等学校秘書教育研究会 副会長 平野 修 氏

全国高等学校秘書教育研究会 専務理事 長谷川美奈 氏

【第2部】14:45~16:15

シンポジウム「就職支援の指導法とキャリアデザイン」

パネリスト 南山大学 教職センター 講師 服部 文彦 氏

全国高等学校秘書教育研究会 副会長 平野 修 氏

全国高等学校秘書教育研究会 専務理事 長谷川美奈 氏

コーディネーター 日本キャリア教育学会 中部地区部会代表 浅井 義行 氏

(2) 2019年度活動計画 (一部実施済)

・2019年度 第1回研修会

日時: 令和元年5月12日 (日) 13:30~17:00

13:15- 受付

13:00-13:20 総会

【平成31年度中部地区部会役員】

代表 (会長)	:	服部 文彦	南山大学教職センター (中部地区理事)
副代表 (副会長)	:	浅井 義行	岡崎職業安定所 (中部地区理事)
幹事・(副会長・北陸委員長)	:	岸 弘市	岸アトラライフ研究所代表
幹事・事務局長	:	長坂廣幸	6NPO 連合・キャリア 夢叶塾 総塾塾長
会計・事務局次長	:	西脇あきほ	学校法人修文女子高等学校教諭
幹事・事務局次長	:	田原 数哲	豊橋創造大学専任講師

会計 : 杉本 勝美 愛知県立半田商業高等学校教諭
監事 : 北村 朱里 全国高等学校秘書教育研究会事務局長
NPONextSecretaryInnovation 事務局長

<運営委員>

幹事 (北陸委員会副委員長) : 白木みどり 金沢工業大学教授 (全国監事)
幹事 (北陸委員会委員) : 広野 雅子 富山県スクールカウンセラー
幹事 : 高綱 睦美 愛知教育大学専任講師 (中部地区理事・副会長)
幹事 : 長坂 昌彦 (中部地区理事)
特定非営利活動法人NPOキャリアフォーラムプラザどっと愛
幹事 : 平野 修 全国高等学校秘書教育研究会副会長
幹事 : 中西 勲 心理カウンセリング振興財団
幹事 : 山田 浩範 コンサルティング青龍代表
幹事 : 松本 禄生 愛知県立豊田東高等学校教諭
幹事 : 松原 忠生 特定非営利活動法人
NPOラポールみえ美し国塾副代表
幹事 : 渡辺 廣重 株式会社ジラス専務取締役
幹事 : 渡辺みゆき 一般社団法人高校生しごとラボ代表

【第1部】13:30~15:00

演 題 : 「公認心理師の視点から実践的指導法の一考察
—メンタルヘルスと実践的支援力—」

講 演 四條啜学園短期大学 ライフデザイン総合学科
専任講師 赤田 太郎氏 (博士 (教育学)・公認心理師・臨床心理士)

【第2部】15:10~16:10

シンポジウム 「大学・高校現場におけるメンタルヘルスと生徒指導の在り方」

パネリスト 四條啜学園短期大学 専任講師 赤田 太郎 氏
南山大学 教職センター 講師 服部 文彦 氏
愛知県立豊田東高等学校 教諭 松本 禄生 氏
コーディネーター 修文女子高等学校 講師 西脇あきほ 氏

・第2回研修会

日 時 2019年10月26日 (土)

会 場 : 金沢工業大学 15号館3階 15-306号室 (稲垣研究室)

【第1部 10:00 ~ 12:00 研究会】

講 師 : 上野聡美氏 (金沢市立犀川小学校事務主査)

テーマ : 「子どもたちの幸せの実現を総合力で支える～学校事務職員の考えるチーム学校～」

【第2部 12:30 ~ 14:00 シンポジウム及び懇親会】

テーマ : 「効果的なチーム学校の実現に向けて」

パネリスト : 上野 聡美 (金沢市立犀川小学校事務主査)
白木みどり (金沢工業大学教授)
広野 雅子 (富山県スクールカウンセラー)

コーディネーター : 岸弘市 (石川県スクールカウンセラー)

・第3回研修会

日 時 令和2年1月予定

会 場 一宮市市民活動支援センター会議室A・B連結

4. 近畿地区部会活動

(1) 2019 年度 活動報告

①近畿研究地区部会役員会

第 1 回

日時 : 2019 年 4 月 13 日 (土) 11:00-13:00

会場 : 大阪大学 豊中キャンパス 全学教育総合棟 I 2 階

第 2 回

日時 : 2019 年 7 月 6 日 (土) 12:00-13:00

会場 : 大阪大学 豊中キャンパス 全学教育総合棟 I 2 階

②近畿研究地区部会総会

日時 : 2019 年 7 月 6 日 (土) 13:30-13:45

会場 : 大阪大学 豊中キャンパス 全学教育総合棟 I 2 階

③日本キャリア教育学会 近畿/中国・四国研究地区部会 2019 年度合同研究会

日時 : 2019 年 7 月 6 日 (土) 14:00-17:00 (懇親会 17:30-19:30)

会場 : 大阪大学 豊中キャンパス 全学教育総合棟 I 2 階

参加者 : 【合同研究会】 60 名 (会員 36 名、非会員 24 名)

【情報交換会】 33 名 (会員 23 名、非会員 10 名)

基調講演 : 「我が国におけるキャリア教育の歩み—令和に向けた平成の振り返り—」

三村隆男先生 (早稲田大学、日本キャリア教育学会 前会長)

パネルディスカッション : 「新しい時代におけるキャリア教育に向けて」

コーディネーター 家島明彦先生 (大阪大学)

パネリスト 三村隆男先生 (早稲田大学)

橋本賢二先生 (人事院人材局企画課)

情報交換会@大阪大学 豊中キャンパス内 待兼山会館 LIBRE (リブレ)

5. 中国・四国地区部会活動

(1) 2018 年度 日本キャリア教育学会中国・四国地区部会活動報告

日時 : 2019 年 3 月 2 日 (土曜日) 13:00 から

場所 : 岡山国際交流センター 5F 会議室

(岡山市北区奉還町 2 丁目 2-1, JR 岡山駅改札から西口方面 1F に降りて徒歩約 3 分

<http://www.opief.or.jp/oicenter/access.html>)

内容 :

(1) 中国四国研究地区部会 総会 (40 分程度) 中国・四国地区会員のみ

(2) 研究発表会 統一テーマ「大学生と進路」(13:40 頃から 16:30 頃まで)

発表時間 1 人 15 分~20 分程度

1. 瀬川和義会員 (前鳥取大学非常勤)

「大学生と進路選択—保護者へのインタビューから学生は何を学んだか」

2. 三保紀裕 (京都学園大学) 会員・松尾知晶会員

「インターンシップがキャリア意思決定・職場適応に及ぼす影響」

3. 瀬良道訓仮会員・河野恵美会員 (岡山理科大学)

「インターンシップの受け入れと企業特性」

4. 森田佐知子 (高知大学)

(3) 懇親会

(2) 2019 年度 日本キャリア教育学会中国・四国地区部会活動計画

<運営委員>

代表：長尾博暢（鳥取大学）

副代表：寺田盛紀

新見直子（広島文教大学）

幹事： 児玉真樹子（広島大学）

長尾由希子（聖カタリナ大学）

仁賀順子（香川大学）

森田佐知子（高知大学）

会計：田中久美子（島根大学）

監事：前田吉広（福山大学）

<活動計画>

◆合同研究会（近畿／中国・四国研究地区部会）

日時：2019年7月6日（土）14:00-17:00（受付 13:45～）

場所：大阪大学 豊中キャンパス 全学教育総合棟 I 2階

ステューデント・commons セミナー室 B

（大阪府豊中市待兼山町 1-16）

<https://www.celas.osaka-u.ac.jp/facilities/>

◆情報交換会（近畿／中国・四国研究地区部会）

日時：2019年7月6日（土）17:30-19:30（受付 17:15～）

場所：大阪大学 豊中キャンパス内 カフェテリア

（詳細は申込者にのみ追って連絡いたします）

参加費：合同研究会 会員は無料、非会員 1,000 円

情報交換会 会員・非会員ともに 3,000 円程度

プログラム

13:15-13:00（受付）

13:30-13:45 総会 ※近畿研究地区部会の会員のみ

13:45-14:00（受付）

14:00-14:10 開会挨拶

14:10-15:10 基調講演「我が国におけるキャリア教育の歩み

～令和に向けた平成の振り返り～

三村隆男 先生（早稲田大学、日本キャリア教育学会 前会長）

15:10-15:30（休憩）

15:30-17:00 パネルディスカッション「新しい時代におけるキャリア教育に向けて」

コーディネーター 家島明彦（大阪大学）

パネリスト 三村隆男（早稲田大学）

橋本賢二（人事院）

17:00 閉会挨拶

17:00-17:30（移動・受付）

17:30-19:30 情報交換会

6. 九州・沖縄地区部会活動

(1) 2018 年度 日本キャリア教育学会九州・沖縄地区部会活動報告

日時：平成 30 年 12 月 15 日（土） 13：30～17：00

12:45-受付

13:00-13:20 総会

13:30-17:00 研究会（講演ならびにパネルディスカッション）

18:30-20:30 交流会（事前申込、5,000 円）

会場：九州大学伊都キャンパスイースト棟 1 号館 A-118 教室

テーマ：「女性のキャリアと働き方改革」

登壇者：

松田 美幸 氏（福津市副市長）

田中 研之輔 氏（法政大学教授）

山本 麻理子 氏（福岡魁誠高校教諭）

鐘ヶ江 理恵 氏（J R九州リテール㈱取締役常務執行役員）

参加申込：

12 月 11 日（月）までに事務局(jssce.kyushuokinawa@gmail.com) あてにご連絡ください

趣旨概要：

平成 28 年 8 月に閣議決定された働き方改革は、「一億総活躍社会の実現に向けた最大のチャレンジ」と位置づけられており、多様な働き方を可能とする社会を目指し、労働環境や労働制度の改革を求めています。その背景には、日本型雇用で代表されるように、男性を中心とした硬直的なキャリア形成や長時間労働、正規・非正規による待遇格差など、労働にまつわる課題が社会問題化してきたことが挙げられます。本研究大会では、多様で柔軟な働き方を自分で「選択」できる社会の実現にむけ、働く現場からの報告をもとに、産官学が一体となって議論していきたいと考えています

(2) 2019 年度 日本キャリア教育学会九州・沖縄地区部会活動計画

<運営委員>

代表：永田萬享（福岡教育大学）

副代表：吉本圭一（九州大学）

田崎徳友（九州共立大学）

幹事：大山佳三（熊本学園大学）

広瀬 等（琉球大学）

宮原 清（福岡県教育センター）

西田将浩（進路指導・キャリア教育支援機構）

会計（事務局長）：白井章詞（長崎大学）

監事：中島弘和（福岡県立福岡魁誠高校）

顧問：坂本 昭（福岡大学）

【理事会報告】

1. 地区部会規程の改正（事務局長 京免徹雄）

【改正のポイント】活動の効率化に向けた規程（共通ルール）の再整備

地区部会における研究会の開催等をより活発に行うため、総会・会計報告等の地区部会に係る事務作業負担を軽減

- ・原則として2回程度→2～3回程度（旧5条の変更）
- ・研究地区部会→地区部会
- ・九州地区部会→九州・沖縄地区部会（旧2条の変更）
- ・総会の開催を義務づけない（旧5条・旧10条の変更）
- ・地区部会会計は本体会計の一部とみなし、収支決算報告書の作成や監査の廃止する（旧12条の変更）
- ・監事の廃止、会計担当者の役割変更（旧8条の変更）
- ・活動費の金額を現状に合わせて修正（旧12条の変更）
- ・原則として、地区に所属する理事で地区部会を運営する（旧10条の変更）
- ・地区部会の規則は学会全体で共通のものを定める（旧13条の廃止）

【改正案】日本キャリア教育学会地区部会規程

第1条 本規程は、会則第20条における地区部会の運営を定めるものである。

第2条 地区部会は、会則細則第15条における北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄の6つの地区に設ける。

第3条 地区部会の事務局は、代表の指定する機関内に置く。

第4条 地区部会は、学会の運営方針に基づき、地域におけるキャリア教育等の関係者並びに関係機関の連携と協力を得ながら、地域キャリア教育等の研究と実践に関する活動を行い、もってキャリア教育等の発展に寄与することを目的とする。

第5条 地区部会は、上記の目的を達成するために次の活動を行う。

1. 研究会の開催。この会は、原則として1年間に2～3回程度開催する。
2. 学会や委員会が企画するキャリア教育等に関する研修会、研究セミナー、キャリア・カウンセラーの資格認定に関わる講座、見学会、講演会等への協力
3. その他、地区部会の目的達成に必要な諸活動

第6条 地区部会の会員は、当該地区に居住又は勤務先を有する一般会員から構成される。

第7条 地区部会の運営に当たっては、次の役員を置く。

1. 代表 1名
2. 副代表 2名以内
3. 幹事 数名（10名以内）
4. 会計 1名

第8条 役員は次の業務に当たるものとする。

1. 代表は会を代表し、会務を総括する。
2. 副代表は代表を補佐する。
3. 幹事は代表の下に会務を運営する。
4. 会計は地区部会の運営に伴う支出等を管理する。

第9条 会則第11条(2)における地区理事は、地区部会の役員を務め、地区に所属する全国理事や会長指名理事の協力を得て、運営において中心的役割を果たすとともに、地区部会と学会との連携や調整に当たるものとする。

第10条 代表は、原則として、任期の前年に実施された会則第11条(2)が定める理事選挙において最多得票数を獲得した地区理事が務める。ただし、特段の事情がある場合は、得票数が最大であった地

区理事が中心となって協議の場を設け、地区に所属する理事（地区理事、全国理事、会長指名理事）の中から互選によって代表を選出することができる。他の役員は、代表が任命するものとする。ただし、地区に所属する理事（地区理事、全国理事、会長指名理事）は、すべて役員に含まなければならない。

第 11 条 役員は 2 年間とし、会則第 11 条(2)に定められた理事選挙が行われた翌年 1 月 1 日よりその任にあたる。ただし、再任を妨げない。

第 12 条 地区部会の 1 年間の活動費は、7 万円および前会計年度の 3 月 31 日現在において、前年度の会費を納入した会員数に 300 円を乗じた金額の合計とする。ただし、年度をまたいで活動費を繰り越すことはできない（2017 年度以前までの繰越金を除く）。

第 13 条 本規程の改正は、理事会の議を経て、行うことができる

付 則 本規程は、平成 13 年 10 月 28 日より細則として施行されてきたものを、平成 20 年 10 月 25 日に規程として改めたものである。

(2)平成 17 年 3 月 27 日一部改正

(3)平成 21 年 10 月 3 日一部改正

(4)平成 27 年 3 月 21 日一部改正、平成 27 年 3 月 21 日から 1 年間の周知期間を設け、その後に本規程を適用する。ただし、第 12 条については、平成 27 年 4 月 1 日より適用する。

(5)平成 28 年 10 月 15 日一部改正

(6)令和元年 9 月 22 日一部改正、令和 3 年 1 月 1 日施行

【現行版】日本キャリア教育学会研究地区部会規程

第 1 条 本規程は、会則第 20 条における研究地区部会の運営を定めるものである。

第 2 条 研究地区部会は、会則細則第 15 条における北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州の 6 つの地区に設ける。

第 3 条 研究地区部会の事務局は、代表の指定する機関内に置く。

第 4 条 研究地区部会は、学会の運営方針に基づき、地域におけるキャリア教育等の関係者並びに関係機関の連携と協力を得ながら、地域キャリア教育等の研究と実践に関する活動を行い、もってキャリア教育等の発展に寄与することを目的とする。

第 5 条 研究地区部会は、上記の目的を達成するために次の活動を行う。

1. 研究会の開催。この会は、原則として、2 回程度開催し、そのうち 1 回は年次総会に当てる。
2. キャリア教育等に関する研修会、キャリア・カウンセラーの資格認定に関わる講座、見学会、講演会等
3. その他、研究地区部会の目的達成に必要な諸活動

第 6 条 研究地区部会の会員は、6 地区に居住又は勤務先を有する一般会員から構成される。

第 7 条 研究地区部会の運営に当たっては、次の役員を置く。

1. 代表 1 名
2. 副代表 2 名程度
3. 幹事 数名
4. 会計 1 名以上
5. 監事 1 名

第 8 条 役員は次の業務に当たるものとする。

1. 代表は会を代表し、会務を総括する。
2. 副代表は代表を補佐する。
3. 幹事は代表の下に会務を運営する。
4. 会計は会費等を管理する。
5. 監事は会計を監査する。

第9条 会則第11条(2)における地区理事は、研究地区部会の役員を務め、地区に所属する全国理事や会長指名理事の協力を得て、運営において中心的役割を果たすとともに、研究地区部会と学会との連携や調整に当たるものとする。

第10条 代表は、原則として、任期の前年に実施された会則第11条(2)が定める理事選挙において最多得票数を獲得した地区理事が務める。ただし、特段の事情がある場合は、得票数が最大であった地区理事が中心となって協議の場を設け、地区に所属する理事（地区理事、全国理事、会長指名理事）の中から互選によって代表を選出することができる。他の役員は、総会において会員の総意を参考にしながら、代表が任命するものとする。ただし、すべての地区理事は役員に含まれない。

第11条 役員の任期は2年間とし、会則第11条(2)に定められた理事選挙が行われた翌年1月1日よりその任にあたる。ただし、再任を妨げない。

第12条 会計に関わる手続きは次の通りとする。

1. 各研究地区部会の当該会計年度予算は、7万円および前会計年度の3月31日現在において、前年度の会費を納入した会員数に500円を乗じた金額の合計とする。
2. 代表および会計は、学会事務局が指定する期日までに、学会に対して指定の様式において会計報告をしなければならない。なお、会計報告にあたっては支出に伴う全ての領収書を添付するものとする。
3. 研究地区部会の会計年度は、会則第23条にある学会の会計年度に合わせ、4月1日より翌年の3月31日までとする。

第13条 各研究地区部会は地区の実情に応じ会則など作ることができるが、本規程と齟齬があってはならない。

第14条 本規程の改正は、理事会の議を経て、行うことができる

付 則 本規程は、平成13年10月28日より細則として施行されてきたものを、平成20年10月25日に規程として改めたものである。

(2)平成17年3月27日一部改正

(3)平成21年10月3日一部改正

(4)平成27年3月21日一部改正、平成27年3月21日から1年間の周知期間を設け、その後に本規程を適用する。ただし、第12条については、平成27年4月1日より適用する。

(5)平成28年10月15日一部改正

2. 40周年記念若手研究助成（事務局長 京免徹雄）

日本キャリア教育学会 40周年記念若手研究助成に関する内規

第1条（目的）

学会は、40周年記念若手研究助成に関して本内規を定める。同助成は、キャリア教育に関する若手研究者の育成、および研究機関等に属さない会員の研究奨励を図ることを目的に、研究に係る経費を補助するものである。

第2条（応募資格）

本学会の一般会員で、申込日の時点で以下の条件のいずれかを満たすものに応募資格がある。

1. 40歳未満であること
2. 学部生あるいは大学院生としての身分を有すること

ただし、応募できる件数は1年間に1件のみであり、過去に採択された会員は、応募することができないものとする。

第3条（助成金額・採択件数）

1件につき10万円とし、研究および成果発表に係る経費（物品費、旅費、謝金等）にのみ使用することが

できる。採択件数は、各年度に 2 件を上限とする。

第 4 条（応募・審査・研究助成期間）

応募期間は 5 月 1 日～6 月 30 日とし、「日本キャリア教育学会 40 周年記念若手研究助成申請書」を学会事務局に提出する。選考委員会は 7 月 1 日～8 月 31 日の間に審査を行い、その結果を第 1 回理事会において報告する。理事会で承認後、9 月末日までに応募者に審査結果を通知する。研究助成の期間は、10 月 1 日から翌年度の 12 月末日とする。

第 5 条（審査機関）

40 周年記念若手研究助成選考委員会が審査を行う。同選考委員会は、当面の間、西暦の偶数年次においては学会賞（藤本賞）選考委員会が、西暦の奇数年次においては、研究奨励賞選考委員会が兼ねるものとする。

第 6 条（審査基準）

各選考委員は、提出された申請書について、次の 3 観点から評定する。

- 1 研究課題の学術的重要性
- 2 研究方法の妥当性
- 3 研究計画の実現性

評定は各観点について、4 段階（4 優れている、3 良好である、2 やや不十分である、1 不十分である）とし、合計 12 点満点とする。その上で、委員全体の評定の平均が 9 点以上であることを条件に、上位 2 件を採択とする。同点の場合は、選考委員の合議によって採択を決定する。

第 7 条（採択者の義務）

採択者は原則として、採択された年度の次の年度に開催される研究大会において、個人研究発表（口頭発表あるいはポスター発表を指す、シンポジウムやラウンドテーブル等は含まない）を行うこととする。また、助成期間が終わってから 1 年以内に学会誌『キャリア教育研究』に投稿することを推奨する。

第 8 条（会計処理）

助成金は、当面の間「40 周年記念若手研究助成基金」より支出する。採択者は、助成期間終了から 1 か月以内に、会計報告書を所定のフォーマット（領収書を添付）にて学会事務局に提出する。会計報告書の受理と研究大会での発表完了を条件に、指定の口座に助成金を振り込む。

第 9 条（試行期間）

本若手研究助成の措置は、3 年間で試行期間として行い、その効果を検証する。検証の結果、目的に対する一定の成果が確認できた場合には、理事会において制度化および規程整備について検討する。

附則：この内規は、平成 31 年 4 月 14 日より施行する。

3. 研究大会優秀発表賞（事務局長 京免徹雄）

日本キャリア教育学会 研究大会優秀発表賞に関する内規

第 1 条（目的）

学会は、研究大会優秀発表賞に関して本内規を定める。同助成は、キャリア教育に関する若手研究者の研究奨励を図ることを目的に、毎年開催される研究大会において、優秀であると認められる研究発表（口頭発表あるいはポスター発表を指す、シンポジウムやラウンドテーブル等は含まない。連名でも可能であるが筆頭発表者であること）を表彰するものである。

第 2 条（審査対象）

毎年開催される研究大会において、研究発表に申込をした会員のうち、申込日の時点で以下の条件のいずれかを満たす者が審査対象となる。

1. 40 歳未満であること
2. 学部生あるいは大学院生としての身分を有すること
3. 学部生あるいは大学院生としての身分を失ってから 3 年以内であること。

第 3 条（表彰件数）

表彰件数は、各研究大会において 2 件を上限とする。

第 4 条（審査機関）

研究大会優秀発表賞選考委員会が審査を行う。同選考委員会は、当面の間、西暦の偶数年次においては学会賞（藤本賞）選考委員会が、西暦の奇数年次においては、研究奨励賞選考委員会が兼ねるものとする。

第 5 条（審査基準）

各選考委員は、大会発表論文集に掲載された発表要旨について、次の 4 観点から評定する。

- 1 研究展開の論理
- 2 研究推進の技法
- 3 研究成果の学問的な貢献度
- 4 研究成果のキャリア教育実践への貢献度

評定は各観点について、4 段階（4 優れている、3 良好である、2 やや不十分である、1 不十分である）とし、合計 16 点満点とする。その上で、委員全体の評定の平均が 12 点以上であることを条件に、上位 2 件を受賞対象とする。同点の場合は、選考委員の合議によって受賞を決定する。

第 6 条（審査期間）

選考委員会は当該年度の研究大会原稿締め切り日から 2 か月以内に審査を行い、その結果を理事会において報告する。理事会で承認後、研究大会当日までに受賞者に審査結果を通知する。

第 7 条（表彰式）

研究大会時に行われる定期総会において受賞者を表彰し、受賞者に賞状を送る。ただし、記念品等は用意しない。

第 8 条（受賞者の義務）

受賞者は、研究大会において個人研究発表を行わなければならない。研究発表を行わなかった場合には、原則として受賞を取り消す。

第 9 条（会計処理）

表彰に係る費用は、学会の一般会計から支出する。

第 10 条（試行期間）

本研究大会優秀発表賞の措置は、3 年間で試行期間として行い、その効果を検証する。検証の結果、目的に対する一定の成果が確認できた場合には、理事会において制度化および規程整備について検討する。

附則：この内規は、平成 31 年 4 月 14 日より施行する。

2019 年度 学会表彰

1) 研究奨励賞 (選考委員会委員長 高綱睦美)

委員長：高綱睦美 (副会長)

委員：横山明子 (学会誌編集委員長) 浦上昌則 (研究推進委員会委員長) 三川俊樹 (学会誌編集委員)
安達智子 (学会誌編集委員) 三村隆男 (学会員) 永作 稔 (学会員)

受賞者： 京免 徹雄 氏

受賞論文：京免徹雄 フランスのキャリア教育における e ポートフォリオ活用の現状と課題—教職員へのインタビュー調査に基づいて— (第 36 巻 1 号掲載)

当該論文は、論旨が一貫しており、論文展開の論理が適切であると判断できる。また e ポートフォリオの活用先進国であるフランスでの取り組みを分析するとともに、インタビュー内容から、詳細な課題の分析を行っており適切な方法で研究が進められている。

さらに現在日本でも導入が推進されている e ポートフォリオについて、課題も含め検討を行うことで、学術的な価値も高く、学会への貢献度も高く評価できる。

ただ、論文内で著者も指摘している通り、フランスの 1 校における事例であることや、フランスの制度を日本の教育実践にどこまで生かすことができるのかという点についての言及はやや弱いことから、教育実践への貢献にはやや課題がある。

これらの点を総合的に加味した結果、一般化や日本の教育実践にどう生かすかといった課題は残るものの、今後導入が進められていく e ポートフォリオをどのように活用し、キャリア教育実践に生かしていくことができるのか核となる部分を明確にした点は高く評価でき、今後の研究発展の可能性が期待できることから、当該論文が研究奨励賞としてふさわしいと判断した。

受賞者： 藤澤 広美 氏

受賞論文：藤澤広美・原口恭彦 大学生の進路選択自己効力感と学習との関連—社会的スキルの媒介効果に着目して— (第 37 巻 2 号掲載)

当該論文は、学習意欲、主体的学習、社会的スキルという変容可能な変数を用いて進路選択自己効力感を予測、説明することに成功しており、実践的な貢献度が高いと判断される。また、学生が学習意欲を高くもち、主体的に学ぶ姿勢や行動を示すことで結果的に社会的スキルを媒介して、または直接に進路選択自己効力感を高めていることが示されていることから、大学におけるキャリア教育の本質とは何かという問いに迫る実証的なデータを示した研究である。

進路選択自己効力感研究は、それが高いことによるキャリア発達上の価値が一貫して示されていながらも、どのようにそれを培うのかという点において課題があった。本論文はそれらの課題に対して一定の有用な選択肢を示唆したという意味で、学術的な貢献もある。

一方、学習意欲が高く、主体的に学ぶ姿勢と行動を示すことができる学生は、特性レベルの自己効力感もともと高い学生であるということも考えられる。実際に、論文内でも学習意欲と主体的学習は中程度 ($r=.50$) の正の相関関係にあることが示されている。その点において、目新しさといった点で一定の課題がある。このことが研究成果の学会への貢献度という観点で相対的に低めの評価につながっている。

これらの点を総合的に加味した結果、上述の課題は残るものの、キャリア教育の導入に学習意欲を向上さ

せ、主体的な学びへと学生を導くことによって、その後のキャリア発達を促すことができるということを実証的に示した点は高く評価でき、今後の研究発展の可能性が期待できることから、当該論文が研究奨励賞としてふさわしいと判断した。

2) 40 周年記念若手研究助成 (選考委員会委員長 高綱睦美)

※選考委員は研究奨励賞選考委員会と同じ

採択者： 藤田 駿介 氏
小菅 清香 氏

3) 研究大会優秀発表賞 (選考委員会委員長 高綱睦美)

※選考委員は研究奨励賞選考委員会と同じ

受賞者： 森本 哲介 氏

受賞発表：森本哲介 教師の「児童生徒の強みを見出し活かす力」の育成—現職教員と学生の差異に着目して— (単独, 口頭発表)

- ・現職教師と養成課程の大学生の資質・能力の比較は、教師のキャリア形成研究につながる重要な取り組みである。今後本学会でも取り組むべき課題であり、その端緒となった意義は大きい。
- ・Strengths Spotting という概念を教育の場面に適用しようとする着眼点が興味深く、また手堅い手法で、これからの発展も期待できる。限られた紙幅の中に、必要な情報をうまく配置しており、内容の理解が容易である。
- ・「子どもの強みを発見しその強みを発揮できるように促す教師の資質」に注目し、その資質を測定する「Strengths Spotting 尺度」による調査結果から、教員養成課程で育成すべき資質等を検討している点が興味深い。
- ・新しい概念を取り入れつつ、教員養成課程でどのような資質・能力を育成すべきかを検討している点が興味深い。また、今後の研究の発展にもつながる研究として評価できる。

受賞者： 伊藤 良介 氏

受賞発表：伊藤良介・溝邊和成 ICE モデルを活用したキャリア教育の授業改善—Connections における児童の変容に着目して— (連名, ポスター発表)

- ・小学校教員による先駆的な実践研究であり、総合的な学習の時間のなかで 4 クラスに 9 コマの時間数を取り、綿密な実践を行い、成果を出している。
- ・キャリア形成が測定できる発達段階として小学校高学年はその初期的段階といえる。丹念に記述の過程を追跡した本研究が、この発達段階のキャリア形成のプロセスを明らかにする意義を示した功績は大きい。

- ・キャリア教育の授業実践における Connections の効果を質的データによって丁寧に捉えている。キャリア教育を「対話的で深い学び」に導くための示唆をもつ研究として高く評価できる。
- ・現在の重要な教育課題である「主体的・対話的で深い学び」について、キャリア教育に ICE モデルの研究枠組みを用いての工夫された授業実践の研究であることから、今後のキャリア教育の実践だけではなく、この授業方法の実践に関しても他校種の教育実践にも寄与するところが大きいと評価した。
- ・主体的・対話的な学びについて、理論的な研究の視点を用いて綿密な計画の下で実践を行っているところが評価できる。特に今後の学校におけるキャリア教育の実践に大きく貢献するものと考えられる。

審 議 事 項

1. 2018 年度決算報告および会計監査報告

(事務局長 京免徹雄、監事 榎本和生、白木みどり)

2. 地区部会規程に伴う会則等の改正 (事務局長 京免徹雄)

- ・「研究地区部会」を「地区部会」に改める
- ・「九州研究地区部会」を「九州・沖縄地区部会」に改める

3. 名誉会員の推薦 (会長 下村英雄)

2018 年度第 3 回理事会の決定に基づき、以下 1 名を名誉会員として推薦する

佃 直毅 会員

4. 2020 年度予算(案) (事務局長 京免徹雄)

5. 第 38 回研究セミナー開催(案) (会長 下村英雄)

会場：未定

準備委員会委員長：未定

担当地区：中国・四国地区部会

日程：未定

6. 第 42 回研究大会・定期総会開催(案) (会長 下村英雄)

会場：筑波大学つくばキャンパス (〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1)

日程：2020 年 10 月 10 日 (土)・11 日 (日)

準備委員会委員長：藤田晃之 (筑波大学人間系)

7. その他